



平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月15日

上場会社名 株式会社 ゼットン
コード番号 3057 URL <http://www.zetton.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲本健一
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 森 充

TEL 03-6416-3120

四半期報告書提出予定日 平成26年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	2,315	19.7	△1	—	9	△85.0	△3	—
26年2月期第1四半期	1,934	15.0	46	—	60	—	29	—

(注)包括利益 27年2月期第1四半期 △7百万円 (—%) 26年2月期第1四半期 38百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第1四半期	△0.81	—
26年2月期第1四半期	7.02	6.97

(注)平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第1四半期	3,654	1,016	27.8	235.93
26年2月期	2,874	1,054	36.7	244.73

(参考)自己資本 27年2月期第1四半期 1,016百万円 26年2月期 1,054百万円

(注)平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	700.00	700.00
27年2月期	—	—	—	—	—
27年2月期(予想)	—	0.00	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	17.6	340	△5.6	360	△2.4	170	△15.4	39.46
通期	9,400	11.4	312	0.3	342	0.1	170	18.9	39.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期1Q	4,307,900 株	26年2月期	4,307,900 株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	— 株	26年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期1Q	4,307,900 株	26年2月期1Q	4,271,900 株

(注)平成26年3月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり発行済み株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年5月31日）におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要と一定の反動減はあったものの、景気全体の流れは底堅く、企業収益の改善に伴い企業の設備投資や雇用も増加し、消費環境も改善が見られるようになりました。

このような市場環境の下、当社グループは、ビアガーデン事業、ハワイアン事業の拡大を目的に、10店舗の新規出店を行いました。なお、契約期間満了などに伴い当期間に4店舗の閉店も行っております。既存店につきましては、価格を超えた価値や質に焦点をあてた商品づくりに取り組み、既存店売上高は前年対比103.2%にて推移いたしました。

利益につきましては、前年同期にて出店がなかったのに対し、当四半期は新規店舗が重なったことから、出店費用を要因に前年同期を下回る結果となりましたが、今後これらの新規店舗の業績が、全体の収益に貢献する予定であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,315百万円（前年同期比19.7%増）、営業損失1百万円（前年同期は営業利益46百万円）、経常利益9百万円（前年同期比85.0%減）、四半期純損失3百万円（前年同期は四半期純利益29百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間末現在の店舗数は、直営店66店舗（国内64店舗、海外2店舗）、FC店3店舗の計69店舗となっております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①公共施設開発事業

前期にリニューアルいたしました婚礼施設「GARLANDS」を中心に、好調に推移いたしました。

この結果、当事業における売上高は990百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は139百万円（同107.8%増）となり、売上、利益共に前年同期を大きく上回る結果となりました。

②商業店舗開発事業

平成26年3月に大阪市阿倍野にある超高層ビル「あべのハルカス」の展望台に「SKY GARDEN 300」を、同年4月に大阪市京橋にてアロハテーブル事業としては大阪初となる「ALOHA TABLE Kyobashi」並びに「HI-MEX BAR」を出店いたしました。

また5月には、商業施設「パルコ」、百貨店の「松坂屋」合わせて、7施設の屋上にビアガーデンを出店し、合計10店舗の新規出店を行いました。

この結果、当事業における売上高は1,325百万円（前年同期比28.5%増）、営業利益は30百万円（同75.3%減）となり、売上につきましては好調に推移いたしました。利益につきましては、新規店舗の出店費用の発生により、前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ779百万円増加の3,654百万円となりました。これは主に、有形固定資産が合計419百万円、売掛金が196百万円、現金及び預金が124百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ817百万円増加の2,637百万円となりました。これは主に、未払法人税等が87百万円減少したものの、未払金が348百万円、買掛金が201百万円、リース債務が103百万円、長期借入金が84百万円、未払費用が80百万円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少の1,016百万円となりました。これは主に、利益剰余金が33百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月14日に発表いたしました予想から変更はありません。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、潜在的なリスクや不確定要素が含まれております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	619,569	744,000
売掛金	105,934	302,313
商品	2,786	2,569
原材料及び貯蔵品	87,044	103,973
前払費用	72,518	64,023
繰延税金資産	37,269	49,604
その他	71,309	101,418
貸倒引当金	△43	△67
流動資産合計	996,388	1,367,834
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,195,082	1,405,428
工具、器具及び備品（純額）	105,985	164,223
リース資産（純額）	65,611	160,837
建設仮勘定	2,497	56,944
その他（純額）	198	1,783
有形固定資産合計	1,369,375	1,789,217
無形固定資産	31,886	30,605
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
出資金	1,000	1,000
長期前払費用	20,740	22,508
差入保証金	354,747	363,154
繰延税金資産	100,180	79,443
その他	563	416
投資その他の資産合計	477,232	466,523
固定資産合計	1,878,494	2,286,347
資産合計	2,874,883	3,654,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	301,457	503,398
短期借入金	20,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	360,458	375,586
リース債務	34,427	52,299
未払金	154,743	503,151
未払費用	209,170	289,822
未払法人税等	103,246	15,269
未払消費税等	43,897	27,926
前受金	82,112	100,557
その他	15,693	44,416
流動負債合計	1,325,206	1,972,428
固定負債		
長期借入金	385,477	469,914
リース債務	38,934	124,870
資産除去債務	67,886	67,550
その他	3,125	3,050
固定負債合計	495,423	665,384
負債合計	1,820,629	2,637,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	379,605	379,605
資本剰余金	301,808	301,808
利益剰余金	348,017	314,382
株主資本合計	1,029,431	995,796
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	24,821	20,572
その他の包括利益累計額合計	24,821	20,572
純資産合計	1,054,253	1,016,368
負債純資産合計	2,874,883	3,654,181

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	1,934,397	2,315,893
売上原価	592,639	738,870
売上総利益	1,341,757	1,577,022
販売費及び一般管理費	1,295,175	1,578,886
営業利益又は営業損失(△)	46,581	△1,863
営業外収益		
受取利息	85	85
協賛金収入	7,084	13,967
貸倒引当金戻入額	661	—
為替差益	12,049	2,903
その他	230	456
営業外収益合計	20,112	17,413
営業外費用		
支払利息	5,911	3,977
たな卸資産廃棄損	—	1,635
その他	189	832
営業外費用合計	6,101	6,446
経常利益	60,592	9,103
特別利益		
固定資産売却益	—	92
特別利益合計	—	92
特別損失		
投資有価証券売却損	372	—
特別損失合計	372	—
税金等調整前四半期純利益	60,220	9,196
法人税、住民税及び事業税	22,607	4,274
法人税等調整額	7,618	8,401
法人税等合計	30,225	12,675
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	29,994	△3,479
四半期純利益又は四半期純損失(△)	29,994	△3,479

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	29,994	△3,479
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,281	△4,249
その他の包括利益合計	8,281	△4,249
四半期包括利益	38,275	△7,729
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,275	△7,729
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年3月1日 至平成25年5月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共施設 開発事業	商業店舗 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	902,968	1,031,428	1,934,397	—	1,934,397
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	902,968	1,031,428	1,934,397	—	1,934,397
セグメント利益又は損失(△)	67,255	121,968	189,223	△142,642	46,581

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△142,642千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成26年3月1日 至平成26年5月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共施設 開発事業	商業店舗 開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	990,202	1,325,690	2,315,893	—	2,315,893
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	990,202	1,325,690	2,315,893	—	2,315,893
セグメント利益又は損失(△)	139,787	30,075	169,862	△171,725	△1,863

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△171,725千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。